

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	放課後等デイサービス事業所 きらきら			
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 22日		～	令和7年 2月 17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数)	13
○従業者評価実施期間	令和6年 12月 1日		～	令和7年 3月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 18日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・職員同士のコミュニケーションが円滑であり、信頼関係が構築されている。	・定期的に職員ミーティングを開催し、個別支援計画の作成やモニタリングの他、ミニ研修や情報共有等を行っている。 ・毎日のミーティングのなかで、前日の振り返りや当日の予定確認を細かく行っている。	・各々、各研修で学んだ内容を活かし、職員一人ひとりが風通しの良い職場環境になるように努めることが大切だと思う。
2	・毎日の活動内容が豊富。	・ひと月ごとに活動カレンダーを作成し、沢山の活動をランダムに盛り込んでいる。 ・毎日の活動以外にも、お誕生会や季節の行事を行っている。	・職員ミーティング等の機会を通じ、行った活動を振り返ることですらなる内容の充実を図っていく。
3	・子供が通学している学校や、行政や相談支援事業所等の関係機関との連携が図られている。	・地域の支援学校の児童との連携会議は、年に1回もしくは電話・書面で行っている。それ以外の市内の児童生徒は年2回、もしくは、必要に応じて数回、連携会議を行っている。	・今後も学校・関係機関と密に連携をとることで、子ども本人とご家族の支援に努めていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・他施設との交流・地域との交流が少ない。	・他施設との交流は行事には組み込まれていない。下校後の営業時間がバラバラで短く、交流をするには不足してタイミングが合わない。	・余裕を持って活動ができる長期休業等で、他施設と連携しながら、交流会等のイベントを年間の行事に組み込んでいけるか検討していく。
2	・父母の会の活動の支援や、保護者同士の交流の機会を作ることができていない。	・日々の支援で手一杯となっており、交流の機会を作る検討に時間を割くことができなかった。 ・どのような形でのニーズがあるのか把握できていなかった。	・保護者同士の交流について、ニーズの聞き取り調査を行う。 ・改めて時間を作るのではなく、職員会議等で、保護者同士の交流について検討する時間を設ける。
3	・各種マニュアルの策定や非常災害を想定した定期的な避難訓練等の情報発信について	・各種マニュアルを策定したり、定期的な避難訓練を実施しています。また、その内容を定期的に通信等で発信していますが、保護者の皆様にしっかりと伝わっていない現状がある。	・通信などの発信だけでなく、各種マニュアルや避難訓練の実施のみを扱ったお手紙等のご案内を発信していくことで、他の情報に埋もれず、保護者の皆様にしっかりと情報を伝えられる仕組み作りに取り組んでいく。